

(別紙 1)

●コロナ禍のレッスンにおける感染症対策について

- 担当インストラクターは当スタジオでもコロナウイルスに感染する可能性がある事を常に意識し、危機感を持って感染症対策を徹底する。
- 担当インストラクターは、こまめな手洗いやアルコール消毒の実施をする。
- 担当インストラクターは、マスクまたは代用品の常時着用を義務化する。会員様の見本である事を意識し、レッスン中も必ず口を覆うように着用すること。アゴへずらしての不正着用はしない。
- 担当インストラクターは、感染拡大につながるような行為はしないよう注意する。
- 担当インストラクターはコロナ警戒中において、毎レッスン前に会員様およびご来所の関係者様全員に検温および手指の消毒を実施する。
- 担当インストラクターは、毎レッスン前に会員様およびご来所の関係者様全員の検温を実施し、担当インストラクターおよび会員様の体温測定値を名簿へ記入して報告する。
- 担当インストラクターは、水分補給や休憩中において、会員様が口を覆うようにマスクを着用していない場合、会員様同士が近距離で会話や接触をしないように注意する。
- 担当インストラクターは、スタジオ内の常時換気をする。自然換気と強制換気の同時併用が望ましいが、雨天や高温多湿だと判断した場合は、冷房と強制換気の同時併用を実施する。
- 担当インストラクターは、熱中症対策を意識してスタジオ内の温度管理をする。高温多湿だと判断した場合は、光熱費を気にせずに強冷房と換気を同時併用する。